

一切の差別を許さない!

国労千葉地本運輸区統合分会 SOGA班新聞

12・8 平和を守る千葉県集会①

講演「関東大震災100年・朝鮮人虐殺問題」

講師・金哲秀（キム・チヨルス）さん（朝鮮大学教授）

今年が関東大震災から100年を迎え、各方面で関連する報道や行事などが取り組まれ、一層の防災意識を高めるきっかけとなりました。その一方で、100年前のその日に起こった朝鮮人大虐殺などもクローズアップされ、映画「福田村事件」も製作発表されています。（映画に関しては後日取り上げます）毎年この日に開催されている平和集会、今回は私たち日本人にとって恥ずべき負の歴史となったこの事件に関する講演を、18時より真教育会館で拝聴しました。

事件の概要

関東大震災が発生した1923年9月1日、その大混乱の中で「朝鮮人が暴動を起こしている」「井戸に毒を入れた」「婦女子に対して暴行を行なっている」などといった言われもないデマがあったという間に広まり「朝鮮人を見たら通報せよ」そしてこれも

あつという間に「朝鮮人を見たら殺せ」といった通達に変わり、関東を中心に数千人もの朝鮮人、そして間違われた日本人も虐殺されるという大事件に発展した私たち日本人としては、本当に恥ずべき負の歴史を残したものであります。今年5月の憲法集会においても「人権問題」に

部取り上げられました。表沙汰に

ならないのは何故？

これほどの大事件の歴史なのに、国内でもあまり知られていないことにずっと疑問と憤りを感じていました。

の罪悪感さえ感じることもとなりました。この事件の時代背景も重要ですが、当事者たちが口をつぐんだこと、政府や警察関係者が事件発生から今日まで100年もの間、これを否定し続けていることが、表沙汰にならない最大要因かと思えます。現在の政府与党も「資料が不十分で分からない」と公式発表している始末です。

命がけの調査結果

私自身、昔から漠然とした知識はありましたが、今年の憲法集会、そして映画「福田村事件」を観るまで、資料もなく正直あまり熱心に知らうとも思っていませんでした。が、今回の金さんの講演を聞いて、今まで知らなかったことへ

正しい情報で行動しよう!



た調査が行なわれまし。事件前後は時間ごとに記録され、地域ごとの虐殺による被害者数、加害者の実態、特に政府や警察の動きの中では、重要人物の個人名までが判明しており、事件のみならず、その後現在に至るまでが克明に調査され、記録されています。この調査活動、及び宣伝活動においても、命の危険が及ぶような追跡、妨害が行なわれており、今回の資料が命がけで作られたことを知り、これを生かしていかなければならないことを痛感しました。

☆ 詳細な資料、そして金さんの分かり易い説明で、あつという間の2時間でした。(つづく)